

2016年5月19日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

アメリカン・センチュリー・インベストメンツ社への出資完了について

野村ホールディングス株式会社(グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は、2015年12月21日に発表したAmerican Century Investments(アメリカン・センチュリー・インベストメンツ、以下「アメリカン・センチュリー」)への出資を完了しました。経済的株式持分41%を約10億米ドルで取得した結果、当社の議決権は10.1%となり、アメリカン・センチュリーの取締役11名中、2名を派遣します。

永井グループCEOは、「アセット・マネジメント・ビジネスは野村グループの主要ビジネスのひとつであり、本提携は、当社とアメリカン・センチュリー双方の企業価値向上に大いに寄与するものと期待しています。」と述べました。

野村アセットマネジメント株式会社の渡邊国夫CEO兼執行役社長は、「お客様のニーズに沿った商品・サービスを提供する、との理念を共有するアメリカン・センチュリーとの提携により、両社の運用商品やサービス展開がより強化されることは大きな進歩です。」とコメントしました。

アメリカン・センチュリーのジョナサン・トーマス社長兼CEOは、「日本およびアジアにおいて圧倒的なプレゼンスを持つ野村との戦略的提携を、大変喜ばしく思います。」と述べています。

この提携により、当社は、国内外の個人のお客様や機関投資家に提供する運用ソリューションを開発するために、アメリカン・センチュリーが有するノウハウを活用することが可能となります。さらに、米国の運用業界で当社のプレゼンスが拡大することにより、ビジネスの多様化を推進しやすくなるなど、大きなメリットを得ることができます。

<アメリカン・センチュリーについて>

1958年創業、米国ミズーリ州カンザスシティを本拠地とする独立系投資顧問会社。米国のほか英国、香港に拠点を持ち、従業員は約1,300人。同社の支配株主であるストワーズ医学研究所は、同社の創業者、故ジェームズ・E・ストワーズ氏が社会貢献のために1994年に設立した非営利団体。同社からの配当金を活動原資として、約550人の研究者がバイオ医療の研究を行っている。

以上